

第 3 9 回

少年少女親善オリンピック 長岡大会要項

■期 日 平成26年10月13日(月・祝)

■会 場 長岡市営陸上競技場

◆主 催 長岡市陸上競技協会 新潟日報社 BSN新潟放送

◆共 催 長岡市教育委員会

◆後 援 新潟県教育委員会 (一財)新潟陸上競技協会 中越地区陸上競技連絡協議会
(公財)長岡市スポーツ協会 長岡市三島郡小学校体育連盟

- 趣 旨** 児童生徒の体力向上と陸上競技の普及発展をめざす。
- 1. 受付** 13日(当日) = 午前7時～7時45分
- 2. 開会式** 午前8時
- 3. 競技種目**
 小学男子(5年・6年) 100m 1500m 走幅跳 共通種目 走高跳 4×100m R
 小学女子(5年・6年) 100m 800m 走幅跳 共通種目 走高跳 4×100m R
 中学男子 100m 400m 3000m 110mH 4×100m R 走幅跳 走高跳 砲丸投
 中学女子 100m 200m 800m 100mH 4×100m R 走幅跳 走高跳 砲丸投
- 4. 参加資格**
- ① 小学校・クラブチーム=5・6年 中学校・クラブチーム=1・2年
 - ② 小学校は1人1種目(リレーは除く)、1校2人以内、ただし、長岡市内小学校
長岡市内クラブチームは1種目3人までとする。
 - ③ 中学校、クラブチームは1人1種目(リレーは除く)、1校3人以内とする。
 - ④ 小学校・中学校・クラブチームともリレーは1チームとする。
- 5. 参加料** 1種目500円、リレーは1チーム1,000円(スポーツ障害保険料含む)。※参加料の返金
はしません。※大会プログラムは各団体に2冊贈呈(一般販売は1冊500円)。
- 6. 申込方法**
- ① 申し込み様式に該当事項を明記し、(特に健康診断と保護者の承諾を必ず得ること。)
9月5日(金)必着で申し込むこと。
 - ② **電話での申し込み、および締め切り後の受け付けは一切認めない。**
 - ③ **出場校(中学、小学、クラブチーム)は競技役員として必ず1名派遣すること。(様式1
又は2に記入のこと。)**
 - ④ **申し込みは長岡市陸上競技協会 HP (<http://nagaoka-aa.jp/>)より申し込み書をダウンロードし必要事項を記入後、次のアドレスまで必ずメールにて申し込みください。**
【メール宛先】 小学校 entry3@nagaoka-aa.jp
 中学校 entry4@nagaoka-aa.jp
- ※申し込みメール受信の確認メールの返信はしません。入金等確認ため申し込み書類を下記
事務局まで郵送ください。
参加料は銀行振込または現金書留で9月5日(金)までにお支払いください。
**<振込先>北越銀行本店 普通預金 口座No.: 24759 口座名:新潟日報社長岡支社
同長岡支社に直接持参の場合は、平日の午前9時30分～午後5時30分。**
- 【大会事務局】〒940-0082長岡市千歳1-3-43新潟日報社長岡支社「少年少女親
善オリンピック長岡大会」事務局 電話0258-34-9662**
- 7. 表彰**
- ① 各種目8位までを入賞とし、第1位～3位までにメダルを、第8位まで賞状を授与し表彰する。
リレー種目は第1位のチームにカップを贈る。
 - ② 各種目とも競技終了後、随時行う。
 - ③ 入賞者は、競技終了後直ちに本部に設けられた表彰者控え所に誘導され待機する。
- 8. その他**
- ① 申し込み者以外の出場は認めない。また出場競技者の変更も認めない。
 - ② 芝生スタンドでの競技者の控えテントは、第1ゲートからセンターポール間を中学校とし、
第4ゲートからセンターポール間を小学校とする。ただし、バックスタンド上段は練習場
のため、テントの設営は禁止する。
 - ③ 開会式中はバックスタンドでの練習は禁止とする。
 - ④ フィールド内の開会式は、小学生は右側・中学生は左側に7時50分までに集合。女子の
うしろに男子がつづいて縦一列にならぶこと。
 - ⑤ プログラムの訂正は午前8時30分までに所定の用紙で総務に提出すること。
 - ⑥ 成績一覧表は長岡市陸上競技協会 (<http://nagaoka-aa.jp/>)で掲載します。
- 【個人情報】本大会での連絡・通知、プログラム掲載、運営、表彰、報道、HP掲載に使用します**

9. 競技順序

◎はタイムレース決勝とし、ほかの種目は予選をタイムレースで行う。

トラック競技 開始9時

1	中	女	100m 予	13	小	女	4×100m R 予	25	中	女	200m 決
2	中	男	100m 予	14	小	男	4×100m R 予	26	中	男	400m 決
3	小	女	5年 100m 予	15	中	女	200m 予	27	中	女	100m H 決
4	小	男	5年 100m 予	16	中	男	400m 予	28	中	男	110m H 決
5	小	女	6年 100m 予	17	小	女	5年 100m 決	29	◎中	女	800m 決
6	小	男	6年 100m 予	18	小	男	5年 100m 決	30	◎中	男	3000m 決
7	中	男	110m H 予	19	小	女	6年 100m 決	31	小	女	4×100m R 決
8	中	女	100m H 予	20	小	男	6年 100m 決	32	小	男	4×100m R 決
9	◎小	男	5年 1500m 決	21	中	女	4×100m R 予	33	中	女	4×100m R 決
10	◎小	男	6年 1500m 決	22	中	男	4×100m R 予	34	中	男	4×100m R 決
11	中	女	100m 決	23	◎小	女	5年 800m 決				
12	中	男	100m 決	24	◎小	女	6年 800m 決				

フィールド競技 開始9時15分

1	小	女	6年 走 幅 跳	5	中	女	砲 丸 投	9	小	男	走 高 跳
2	小	女	5年 走 幅 跳	6	中	女	走 幅 跳	10	小	女	走 高 跳
3	中	女	走 高 跳	7	小	男	5年 走 幅 跳	11	小	男	6年 走 幅 跳
4	中	男	走 高 跳	8	中	男	砲 丸 投	12	中	男	走 幅 跳

◇ 競技注意事項

1. 本大会は2014年（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び大会要項ならびに競技注意事項による。

2. 練習場について

- ① 各学校の責任において、バックスタンド上段および河川敷グラウンドを使用すること。
- ② 中学校の砲丸投の練習は禁止する。

3. 競技者の招集について

- ① 招集所は、第4ゲート外側テントとする（小学生左側テント、中学生右側テント）。
- ② 招集時間は下記のとおりとする

	招集開始	招集完了
トラック	30分前	20分前
フィールド	50分前	40分前

- ③ 招集の手順
 - ・「ナンバーと名前」を呼ばれたら「ハイ」と返事をしてナンバーカードを係員に見せ点呼を受ける。本人が他の種目の競技中である場合に限り、代理人の点呼を認める。
- ④ 招集点呼を受けなかった者（名前が呼ばれても返事をしない者）、招集点呼に遅れた者は棄権者とし競技には出場できないことがある。
- ⑤ 点呼後は招集所に待機し競技者係の誘導に従うこと。

4. 競技者の競技場内への入退場について

- ① 競技者の競技場への入場はすべて競技者係の誘導に従うこと。
- ② 競技役員以外は本部席前の通行を禁止する。競技者の本部席側の移動はスタンド側の場外を使用すること。
- ③ トラック競技を終了した者は第1ゲートより場外へ出ること。（フィールドを横切ってはならない）
- ④ フィールド競技を終了した者は係員の指示により、最も近いトラックの外側に出て、第1または第4ゲートより場外に出ること。
- ⑤ 競技者以外は競技場内に立ち入ってはならない。応援・見学をする者はスタンドから行うこと。

5. ナンバーカード及び腰ナンバー標識について

◎小学生

主催者が用意したナンバーカード（男子は白地に青数字・女子は白地に赤数字）を胸と背につける。ただし、走高跳に出場する競技者は片側だけでもよい。腰ナンバー標識も主催者で用意する。

◎中学生

ナンバーカードは県登録ナンバーとし、400mまでの腰ナンバー標識も各校で用意する。ただし、800m以上のトラック競技については主催者で用意する。

6. 競技について

- ① 走路順・試技順はプログラム記載のナンバー左の数字で示す。
- ② 決勝の走路順は主催者が公平に抽選し、結果を掲示板に掲示する。
- ③ 100m、200m、400m、4×100mR、ハードル種目では、フィニッシュした後も競技者同士の安全のために、自分の割りあてられたレーン（走路）を走る事。
- ④ トラック競技の予選はすべてタイムレースで行う。
決勝は上位 8 人（チーム）により行う。同タイムの場合は本部で本人による抽選で決定する。ただし同組の場合のみ着順を優先する。
- ⑤ 抽せんのための呼び出し放送後 5 分間を経過しても、本部に来ない者は棄権とする。
- ⑥ 800mはスタートからオープンコースで行う。
- ⑦ リレーのオーダー用紙は予選・決勝ごとに所定の用紙に必要事項を記入し、各ラウンドの招集完了 1 時間前までに招集所競技者係に 1 部提出すること。（プログラムの巻末にあるものを使用すること）
- ⑧ 小学校 800m、1500m・中学校 800m、3000mはタイムレース決勝とする。
- ⑨ 小学生の走高跳における背面跳びは禁止する。
- ⑩ 走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。（ ）内は練習の高さ。状況により審判長の指示に従い変更することがある。ただし、走幅跳・砲丸投は計測ラインを設けることがある。
* 走高跳で第 1 位決定の場合、バーの上げ下げは 2 c m とする。

走 高 跳	小 学	男子	(110)	115	120	125	130	135	140	……………	以後 3 c m きざみ
		女子	(105)	110	115	120	125	130	……………	以後 3 c m きざみ	
	中 学	男子	(135)	140	145	150	155	160	165	……………	以後 3 c m きざみ
		女子	(115)	120	125	130	135	140	145	……………	以後 3 c m きざみ
走 幅 跳		計測ラインを設けることがある									
砲 丸 投		中 学 男 子	7.5m 以 上			中 学 女 子	7.5 m 以 上				

7. 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。

8. 競技用靴について

- ① 危険防止のため素足では走らないこと。スパイクシューズか運動靴等を使用すること。
- ② 競技場は全天候舗装である。スパイクは必ず 9mm 以下の平行ピンとする。ただし、走高跳競技は 12mm 以下とする。
- ③ スパイクシューズを履いたまま建物の中に絶対入らないこと。

9. 抗議について

競技中におきたときの行為または順位に関する抗議は、正式に結果をアナウンスされてから予選は 15 分以内、決勝では 30 分以内に監督から審判長に口頭ですること。

10. 競技中に発生した傷害・疾病について

医務室はアナウンス施設うしろ（赤十字のマークあり）に設けてある。競技中に発生した傷害・疾病については応急処置を主催者において行うが以後は責任を負わない。